2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　中央自動車工業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　8117　　URL　https://www.central-auto.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　（氏名）　坂田　信一郎
問合せ先責任者　（役職名）　常務取締役総務本部長　（氏名）　住吉　哲也　TEL　06-6443-5192

半期報告書提出予定日　2026年11月16日　配当支払開始予定日　2026年12月４日
決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	23,910	16.9	6,310	22.0	7,175	21.9	4,976	5.5
2026年３月期中間期	20,449	5.2	5,171	△0.0	5,888	△0.6	4,717	13.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　5,526百万円（　5.8%）　2026年３月期中間期　5,223百万円（　37.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	90.03	―
2026年３月期中間期	85.41	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	74,791	66,434	88.8	1,201.44
2026年３月期	71,244	62,953	88.4	1,139.12

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　66,434百万円　2026年３月期　62,953百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	26.00	―	38.00	64.00
2027年３月期	―	32.00			
2027年３月期(予想)			―	33.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

（注）2026年3月期の期末配当金には、創立80周年記念配当３円00銭を含んでおります。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	7.1	12,400	9.0	13,800	6.7	9,500	△1.5	171.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　―　社（社名）　　、除外　―　社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	60,060,000株	2026年３月期	60,060,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	4,764,596株	2026年３月期	4,795,161株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	55,273,591株	2026年３月期中間期	55,240,649株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料３ページ「１．当中間期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当中間期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景として設備投資や個人消費が底堅く推移し、景気は緩やかな回復傾向となりました。一方で、資源価格や人件費の上昇によるコスト増加、為替相場の変動、海外経済の下振れリスクなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

４～９月の国内新車総販売台数（軽を含む）は、新型車の販売や環境性能割の制度変更等により登録車を中心に堅調に推移し、前年同期比5.1%増の約229万台となりました。内訳は、登録車で同9.6%増の約150万台、軽自動車においては同2.4%減の約79万台となりました。

このような環境下、当社グループは、2030年に向けたパーパス「未来のモビリティ社会における最良のパートナー」を具現化するべく、地域密着型営業による訪問活動を一層強化し、国内外の新規開拓および高付加価値商材の拡販を推進するとともに、各種イベントへの協賛・参画やＳＮＳでの発信など、企業ブランディングにも積極的に取り組みました。

これにより、当社グループの売上高は239億10百万円（前年同期比117%）、営業利益は63億10百万円（同122%）、経常利益は71億75百万円（同122%）、親会社株主に帰属する中間純利益は49億76百万円（同105%）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（自動車部品・用品等販売事業）

当セグメントにおきましては、国内部門では、新車供給の回復と新型車の発売などを追い風に、新規開拓と高付加価値商材のさらなる拡販に努めるとともに、訪問活動を積極的に推進し、お客様との信頼関係の構築・深化を図りました。また、アルコール検知器事業は東京支部を中心に営業活動を強化し、新規顧客獲得に努めました。

海外部門では、依然として流動的な中東情勢の影響を受けるなか、海外拠点およびグループ会社との連携を強化し、中南米およびアジア地域を中心に地域密着型営業を推進するとともに、新規顧客の開拓や付加価値の高いオリジナル商材の拡販に取り組み、事業基盤の強化に努めました。

連結子会社のセントラル自動車工業株式会社は、生産体制の効率化と目標品質の維持を図るとともに、原材料の適切な調達を行い、需要の変化に対応した安定供給に努めました。

連結子会社の株式会社フラッグスは、社内の管理・業務体制の構築継続と、さらなる事業発展に向けた商品開発、安定供給の体制構築および販路拡大に努めました。

これにより、売上高は195億２百万円（前年同期比119%）、セグメント利益につきましては59億19百万円（同123%）となりました。なお、上記実績のうち、アルコール検知器に関しては、売上高５億86百万円（同73%）となりました。

（自動車処分事業）

当セグメントにおきましては、連結子会社の株式会社ＡＢＴは、処理台数は前年並みを維持し、中古車市場の好況が続くなか、販売構成の改善を図りました。また、８月以降に全国各地で発生した水害対応においても、迅速かつ適切な業務遂行に努めました。

これにより、売上高は44億８百万円（前年同期比109%）、セグメント利益につきましては３億86百万円（同114%）となりました。

セグメントの業績(連結売上高)

（単位：百万円）

		前　期	当　期	対前期比(%)
自動車部品・用品等販売事業		16,414	19,502	18.8
	内、国内販売	12,008	14,014	16.7
	内、海外販売	4,406	5,488	24.6
自動車処分事業		4,034	4,408	9.3
合　　計		20,449	23,910	16.9

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の財政状態を分析しますと、

① 総資産合計は747億91百万円と前連結会計年度末に比べて35億46百万円増加しております。
増加の主なものは、現金及び預金が23億53百万円、投資有価証券が14億87百万円、
投資その他の資産のその他が１億81百万円であります。
減少の主なものは、のれんが２億42百万円、受取手形及び売掛金が２億30百万円であります。

② 負債合計は83億57百万円と前連結会計年度末に比べて65百万円増加しております。
増加の主なものは、固定負債のその他が２億29百万円、未払法人税等が２億17百万円、
支払手形及び買掛金が１億45百万円であります。
減少の主なものは、流動負債のその他が５億42百万円であります。

③ 純資産合計は664億34百万円と前連結会計年度末に比べて34億80百万円増加しております。
増加の主なものは、親会社株主に帰属する中間純利益が49億76百万円、その他有価証券評価差額金が
６億円であります。
減少の主なものは、配当金の支払いにより利益剰余金が21億11百万円であります。
なお、自己資本比率は、88.4%から88.8%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期の連結業績予想（2026年５月14日公表）につきましては、現時点における業績予想値の変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,250	31,603
受取手形及び売掛金	5,373	5,142
商品及び製品	2,400	2,337
仕掛品	13	7
原材料及び貯蔵品	15	49
その他	843	902
貸倒引当金	△11	△12
流動資産合計	37,886	40,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,793	3,728
土地	5,466	5,466
その他（純額）	297	396
有形固定資産合計	9,557	9,591
無形固定資産		
のれん	3,002	2,760
その他	105	175
無形固定資産合計	3,108	2,936
投資その他の資産		
投資有価証券	19,599	21,087
繰延税金資産	185	56
その他	907	1,089
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	20,691	22,232
固定資産合計	33,358	34,760
資産合計	71,244	74,791
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,723	2,868
未払法人税等	2,090	2,307
賞与引当金	527	535
その他	1,750	1,208
流動負債合計	7,092	6,919
固定負債		
退職給付に係る負債	1,056	1,065
その他	142	372
固定負債合計	1,199	1,437
負債合計	8,291	8,357

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	5,044	5,106
利益剰余金	54,286	57,151
自己株式	△578	△575
株主資本合計	59,753	62,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,942	3,542
繰延ヘッジ損益	△5	1
為替換算調整勘定	△5	△1
退職給付に係る調整累計額	267	206
その他の包括利益累計額合計	3,199	3,749
純資産合計	62,953	66,434
負債純資産合計	71,244	74,791

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	20,449	23,910
売上原価	11,389	13,353
売上総利益	9,060	10,557
販売費及び一般管理費	3,888	4,246
営業利益	5,171	6,310
営業外収益		
受取配当金	118	148
受取賃貸料	25	25
持分法による投資利益	530	689
その他	58	38
営業外収益合計	733	900
営業外費用		
支払手数料	4	3
賃貸収入原価	9	9
為替差損	—	20
その他	3	2
営業外費用合計	16	36
経常利益	5,888	7,175
特別利益		
負ののれん発生益	600	—
特別利益合計	600	—
税金等調整前中間純利益	6,488	7,175
法人税、住民税及び事業税	1,685	2,138
法人税等調整額	85	60
法人税等合計	1,770	2,199
中間純利益	4,717	4,976
親会社株主に帰属する中間純利益	4,717	4,976

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	4,717	4,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	416	545
繰延ヘッジ損益	△6	6
為替換算調整勘定	1	4
退職給付に係る調整額	1	△53
持分法適用会社に対する持分相当額	92	46
その他の包括利益合計	505	550
中間包括利益	5,223	5,526
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	5,223	5,526

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,488	7,175
減価償却費	155	162
のれん償却額	242	242
負ののれん発生益	△600	―
賞与引当金の増減額（△は減少）	△0	7
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	39	8
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1	1
持分法による投資損益（△は益）	△530	△689
受取利息及び受取配当金	△128	△158
売上債権の増減額（△は増加）	103	230
棚卸資産の増減額（△は増加）	△40	35
前渡金の増減額（△は増加）	151	△23
仕入債務の増減額（△は減少）	△160	149
未払金の増減額（△は減少）	15	△194
未払費用の増減額（△は減少）	△200	△211
その他	△9	72
小計	5,525	6,808
利息及び配当金の受取額	183	206
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△2,013	△1,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,695	5,141
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	―	△132
定期預金の払戻による収入	―	2,128
有形固定資産の取得による支出	△138	△221
有形固定資産の売却による収入	0	10
無形固定資産の取得による支出	△3	△87
投資不動産の賃貸による収入	25	25
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△586	―
貸付けによる支出	△10	△213
貸付金の回収による収入	659	―
差入保証金の差入による支出	―	△186
その他	△5	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58	1,326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,680	△2,108
その他	△18	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,698	△2,115
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,938	4,350
現金及び現金同等物の期首残高	20,560	26,044
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,499	30,394

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	合計
	自動車部品・用品等販売事業	自動車処分事業	計		
売上高					
国内	12,008	4,034	16,043	―	16,043
海外	4,406	―	4,406	―	4,406
顧客との契約から生じる収益	16,414	4,034	20,449	―	20,449
外部顧客への売上高	16,414	4,034	20,449	―	20,449
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	16,414	4,034	20,449	―	20,449
セグメント利益	4,832	339	5,171	0	5,171

（注）１．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
２．セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去額が含まれております。
３．売上高は顧客の所在地を基礎とし、国内と海外に分類しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれん発生益）

2025年8月29日に森田産業株式会社の株式を取得し子会社化いたしました。これにより「自動車部品・用品等販売事業」セグメントにおいて、負ののれん発生益を計上いたしました。

当該事象による負ののれん発生益の計上額は、600百万円であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	合計
	自動車部品・用品等販売事業	自動車処分事業	計		
売上高					
国内	14,014	4,408	18,422	―	18,422
海外	5,488	―	5,488	―	5,488
顧客との契約から生じる収益	19,502	4,408	23,910	―	23,910
外部顧客への売上高	19,502	4,408	23,910	―	23,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	19,502	4,408	23,910	―	23,910
セグメント利益	5,919	386	6,305	4	6,310

（注）１．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
２．セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去額が含まれております。
３．売上高は顧客の所在地を基礎とし、国内と海外に分類しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。